

# 倉石・日中学院の歴史写真デジタル化に関する報告書

倉石・日中学院の歴史写真デジタル化企画（以下、本企画といいます）の趣旨、本企画実施の概況などは、先ほど、加納先生が皆さんにご紹介しましたので、私は詳細について簡潔に、本企画作業のながれ、各工程の具体的な内容を皆さんにご報告します。

本企画は昨年10月から今年6月中旬まで、以下の7ステップに分けて実施し、完成したデジタル写真は1,400枚余りです。

## 第1ステップ 写真の所在確認・整理と選別

この作業は昨年10月から今年4月まで、半年余りの時間を費やして行いました。

手稿・写真などの貴重な資料は保存場所から持ち出し禁止するのが基本原則なので、本企画第1ステップから第3ステップまでの作業、つまり写真の所在確認・選別、キャプション作成、そして写真のスキャンと撮影は学院のキャンパス内で行なわなければなりませんでした。

また、70年以上の歴史持つ学院の古い写真は、学院図書室の奥に保管されていることは分かりますが、アルバムの冊数は何十冊もあり、写真の数は少なく見積もっても1万枚ほどもあり、その中からどれをデジタル化するか、整理・選別、ナンバーリング、付箋貼り、キャプション作成のためのメモ書きなどの作業時間は、当初予定の3か月より大幅に増大しました。そのため、加納先生は計40回ほど学院まで足を運びました。

## 第2ステップ 写真のキャプション作成・訂正

この作業は昨年10月から今年6月まで、8か月余りの時間を費やして行ないました。

キャプションを作成するには、アルバムに記載されたメモだけではなく（記載に誤記も散見）、『中国へかける橋』や学院報、他の文献資料を調べたり、当時の事情を知る方に尋ねたり、電話で確認したり、また手紙での確認などさまざまな手間暇をかけました。さらに、キャプションの文字データをすべて手入力しました。

## 第3ステップ 写真のスキャンと撮影

この作業は今年2月から4月まで行ないました。

当初はスキャンニング+撮影によって写真をデータ化するつもりでしたが、一部の写真の保存状況は悪く、印刷物から切り取ったものもあり、また多くの写真はアルバムに直貼りしたため、マクロ撮影に切り替えました。

## 第4ステップ 写真の補正・修正を業者に依頼

この作業は今年3月上旬から4月下旬までかかりました。

半世紀以上の年月を経ているため、多くの写真は経年劣化や色褪せが激しく（一部破損も

あり)、その補正・修正に関する作業は素人にはできません。そのため専門業者の手を借りて処理しました。

#### **第5ステップ 写真のフォーマット作成**

パソコンや携帯・タブレットで閲覧するため、デジタル化した写真の大きさ、保存形式、解像度、そしてレイアウトなどを決める必要があります。また、長時間に写真を閲覧しても目は疲れにくくするため写真背景はブラックにしました。

#### **第6ステップ キャプションを書き込み・修正、時系列に並び替え**

この作業は4月半ばから6月中旬までかかりました。

写真に文字を書き込むのは難しくないが、ただ、いったん書き込んだ文字を部分修正ができません。キャプションを修正する場合は、既存の文字を全て削除してから、あらたに文字を書き込みました。

また、アルバムに貼られている多くの写真は、時系列の中に分散されており、複数のアルバムにも同一写真や類似写真が点在していました。そのため、1500枚の写真の選別段階で類似やダブリが出てしまいました。そのため、校正の工程でキャプションの確認・修正の他、類似・ダブリを探し出し、除去、そして時間軸で並び替えました。

#### **第7ステップ 写真の最終確認、CDマスター作成**

上記のステップを経て、最終確認したデジタル写真のCDマスターを作成しました。

担当理事 唐涛